

2020年1月24日
株式会社NTTドコモ

「5G規格特許ファミリー1100件超の保有・利用許諾を宣言」
-今年春から始まる5G通信技術の実用化に大きく貢献-

株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)は、第5世代移動通信方式(以下、5G)のサービス提供に必要な特許ファミリー^{※1}1100件超の保有を国際標準化機関(ETSI^{※2})に宣言しました。

株式会社サイバー創研による「5G 実現に資する5G-SEP 候補と5G-SEP 宣言特許の出願動向、および、標準化寄書^{※3}の提案動向」の総合分析では、ドコモの宣言した特許ファミリー数は、世界の通信事業者で首位と評価されています^{※4}。

5G規格のサービス提供に必要な技術に関する特許を有する企業等は、各国の標準化機関に当該特許の許諾条件を公表することになっております。ドコモが宣言した特許ファミリーは、公正、合理的かつ非差別的な条件で利用することができ^{※5}、全てのお客様は、高速で快適な5G通信技術を早期かつ低コストに体験することが可能となります。

ドコモは5G通信の規格策定を行う3GPP(移動通信システムの規格策定を行う標準化団体)の標準化活動において、通信事業者としては最も多くの無線方式などの技術提案(寄書5,000件超^{※6})を行っております。

標準規格に関連する特許出願ファミリーや寄書の件数は、標準化活動の参加企業の技術的な貢献度を示すバロメーターであり、ドコモは5G通信技術の実用化に大きく貢献して参りました。

ドコモは、お客様により良いサービスを提供するため、モバイル通信の未来を切り開くべく、今後も研究開発に取り組んでまいります。

※1 特許出願ファミリーとは、同一発明を異なる国において特許出願した場合のそれらの出願やその特許群。

※2 欧州の標準化団体であり、5Gなどの通信規格の策定を行っている国際標準化機関では特に主要な組織。

※3 「寄書」という形式での標準仕様策定に向けた提案事項を含む文書提出。

※4 通信事業者以外を含むと世界9位。

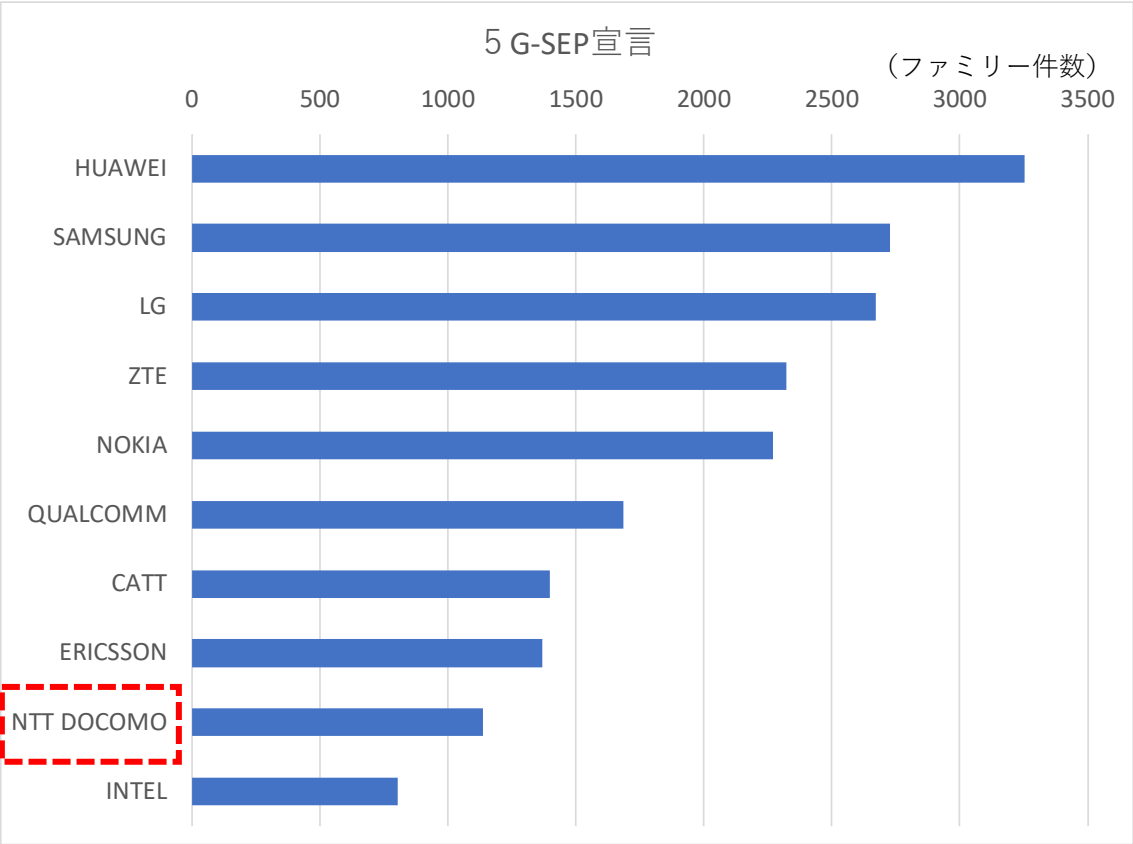
※5 今後も5G規格特許ファミリーを追加で宣言し、同様に公正、合理的かつ非差別的な条件で許諾予定。

※6 世界では10位。

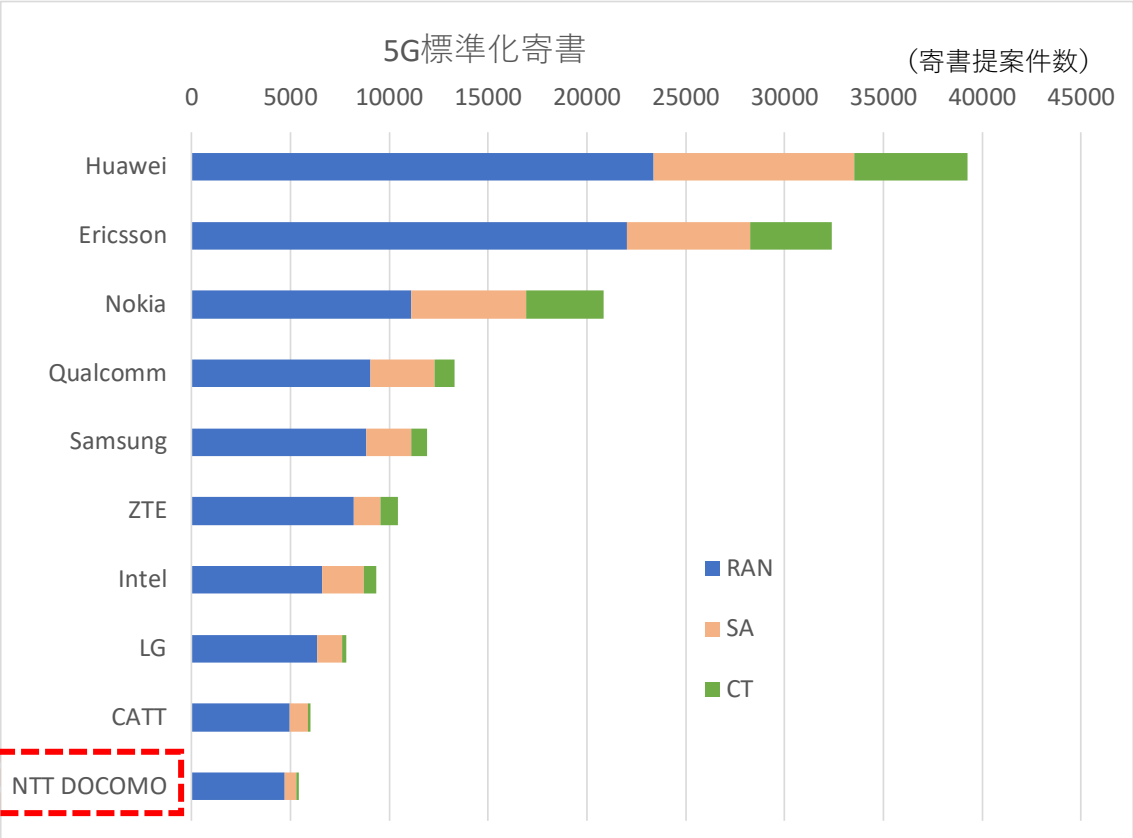
*ドコモの標準化への取り組み <https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/technology/rd/tech/standardization/>

参考

1. 5G 規格関連の宣言特許ファミリー数



2. 5G 規格関連の寄書提出数



出典：株式会社サイバー創研「5G 実現に資する5G-SEP 候補と5G-SEP 宣言特許の出願動向、および、標準化寄書の提案動向」

<http://www.cybersoken.com/wordpress/wp-content/uploads/2020/01/200114.pdf>